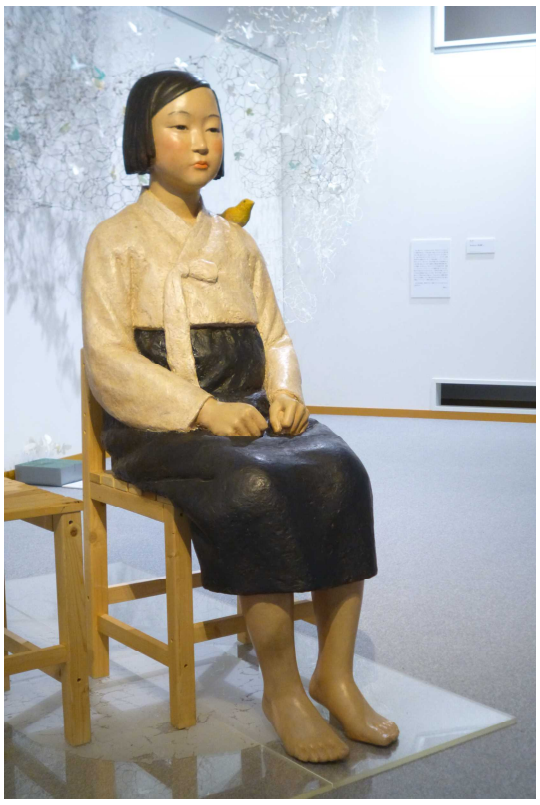
こんにちは、
日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会☎ 353-6311 自宅☎（F 兼）691-3323 （携帯） 090-7880-9442
日本共産党京都市会議員団 ☎２２２－３７２８ FAX ２１１－２１３０
市会議員団ホームページ http://cpgkyoto.jp/ E-mail info@cpgkyoto.jp ２０２２年８月２１日



左肩には、鳥が止まっています。
少女の視線を開放する為に、この上の部分はわざと余白にました。

「財政危機」は過大見積もりだった!!

市が２０２１年度決算概要を発表

２日、市が前年度決算の概要を発表。「財政危機」は、市長の言うほど「危機」ではないことが分かりました。実際以上に、「危機」をあおってきたことになります。

下のカコミ記事の通り、言う度に見込み違いです。市の一般会計は約１兆円の規模ですが、今回、「85億の赤字だが、貯金から89億を補填して４億円の黒字」と発表。しかし実際は、当初予測より約２百億近く増収、その大部分を、借りていた別の貯金に返済。「財政危機」論は借りたままの状態が前提ですから、その前提が崩れたことになります。しかし「今後も福祉経費が増える。収入も不明」などと「危機」ありきに固執しています。

「通常、役所では、会計年度は４月～３月末ですが、未収金や未払い金を５月末までに精算し（「出納閉鎖」と言います。未収金を回収できない場合、一旦閉め、後日の収入は、翌年度以降「過年度収入」として扱います）、６～８月に細かい計算をして９月議会に報告・提案します。」

一昨年秋「今後、毎年５００億円の財源不足」
去年春「'２１年度予算で２３６億円不足」
〃 秋「'２２年度は１２３億円不足の見込み」
今年２月「'２１年度収入は、予算より２００億円増加の見込み」。
〃 ８月２日、今回の'２１年度決算概要報告「８５億円の赤字だが、特別の財源対策の結果４億円の黒字」

最近の相談から

◎発熱があり、日赤で「コロナ陽性」。市からも電話あり。「何日まで自宅療養。その後は普通通りでOK」。しかし「体調不良で一人暮らしで不安。電話も通じない」。相談を受けた井上議員からも市に電話。再三の後、やっと通じ、「電話してあげて現状把握とアドバイスを」。市から電話。「安心できた」。

沖縄に連帯する集会（７／２７）

「表現の不自由展」に行ってきました

戦争反対など当たり前の気持ちを表現しているのに、妨害されて展示の場と機会を奪われてきた作品を並べ、京都市内で開催されました。８月７日、井上議員も鑑賞に行ってきました。会場周辺では右翼の街宣車が大きな音量で叫んでいましたが、物理的な衝突には至らず、無事に鑑賞することができました。警察も警備にあたり、ものものしい雰囲気ではありました。作品が何を訴えようとも、力で妨害することなど、絶対にあってはならないことです。

写真の少女像は従軍慰安婦の象徴ですが、「慰安婦などいなかった」などと、歴史の事実を歪め、戦前の日本の責任を認めたくない人たちがおられますが、批判があれば、言論と表現で反論すればいいのです。

大阪では、吉村知事が府立会場の貸出を拒否しましたが、主催者が裁判に訴え、大阪府の敗訴でした。当然です。京都では、市の施設でしたが、「拒否しても裁判に訴えられたら負ける」と思ってかどうか（井上議員の感想では心ある市幹部の英断だと思っていますが）、無事、借りることができ、今回の開催に至りました。主催者や関係者の皆様のご尽力に心より敬意を表します（少女像も、右の沖縄集会も井上議員撮影）。